目　次

はじめに

第Ⅰ部　社会学的思考に慣れる

第1章　動機の語彙（C. W. ミルズ）　野中　亮

炎上／十九歳の地図／太陽を盗んだ男／紙の月／それでもボクはやってない／CURE／39 刑法第三十九条

1　犯罪映画に描かれた「動機」　2
2　ミルズ「動機の語彙」　6
3　再度，動機とは何か　11

第2章　行為と演技（E. ゴフマン）　西川 知亨

Wの悲劇／スラバヤ殿下／パーフェクトブルー／39 刑法第三十九条／ディア・ドクター

1　演じることをテーマとした映画から「行為と演技」をつかむ　14
2　ゴフマンの「行為と演技」：理論が映画に与えるもの　16
3　「演技」と他の位相との関係：映画が理論に与えるもの　20

第3章　ラベリング理論（H. ベッカー）　丸山 里美

百万円と苦虫女／A／砂の器／電車男／12人の優しい日本人

1　ラベルの力　25
2　ラベリング理論　27
3　ラベリング理論の展開　31

第4章　ジェンダー／セクシュアリティ（M. ミード）　赤枝 香奈子

転校生／ふたり／夫婦善哉／渚のシンドバッド／ジャーマン＋雨

1　『転校生』に見る「女性」「男性」の型　37

2　ジェンダーという概念 39
3　セクシュアリティ 43

第５章　身体技法（M. モース）　西村 大志

ファンシイダンス／シコふんじゃった。／Shall we ダンス？／空気人形／お茶漬の味

1　周防正行監督３作品から「身体技法」を考える 49
2　モース「身体技法」 55
3　「身体技法」から「ハビトゥス」の文化的再生産へ 57

第６章　多元的現実（A. シュッツ，P. L. バーガー）　坂部 晶子

となりのトトロ／羅生門／事件／ゆれる

1　現実の多元的構成 61
2　主観的現実の相克 64
3　多様な現実理解の結節点 69

第７章　組織と集団（R. マートン，E. メイヨー）　工藤 保則

踊る大捜査線THE MOVIE／踊る大捜査線THE MOVIE 2／歩いても 歩いても／そして父になる

1　組織化する集団 73
2　組織と集団 77
3　組織化しない集団 81

第Ⅱ部　社会学の視野を広げる

第８章　社会関係資本（R. D. パットナム）　井上 義和

百万円と苦虫女／ケンタとジュンとカヨちゃんの国／遙かなる山の呼び声／網走番外地シリーズ

1　流れ者の映画的想像力 86
2　つながりは身を助ける：お金で買えない社会関係資本 91
3　「制外の民」の相互扶助ネットワーク 95

第９章　感情労働（A. R. ホックシールド）　近森 高明
川の底からこんにちは／おくりびと／黒い家／いつか読書する日
1　感情をめぐる物語 ---- 99
2　感情を管理すること ---- 101
3　「自然な感情」という罠 ---- 106

第10章　親密性（A. ギデンズ）　今田 絵里香
君に届け／パラダイス・キス／電車男／舟を編む／パーマネント野ばら／
人のセックスを笑うな／ニシノユキヒコの恋と冒険
1　恋愛とは何か ---- 111
2　ギデンズ「親密性」 ---- 116
3　制度的再帰性 ---- 120

第11章　ダブルバインド（G. ベイトソン）　西村 大志
SO-far そ・ふぁー／ファンシイダンス／ニッポン無責任時代／日本一の色男／
日本一の裏切り男／ジャズ大名
1　「ダブルバインド」をイメージする ---- 123
2　ベイトソンとダブルバインド ---- 127
3　病理の処方箋から深いコミュニケーションへ ---- 130

第12章　集合的記憶（M. アルヴァックス）　松浦 雄介
ワンダフルライフ／ 20世紀少年シリーズ／ ALWAYS三丁目の夕日シリーズ／砂の器／
永遠の０
1　他者と分かちあう記憶 ---- 135
2　アルヴァックスと記憶の社会学 ---- 137
3　記憶のゆくえ ---- 142

第Ⅲ部　現代を読み解く社会学

第13章　消費社会論（J. ボードリヤール）　木村 至聖
下妻物語／ヘルタースケルター／スクラップ集団／スワロウテイル
1　「消費社会」を生きる ---- 148
2　ボードリヤールの「消費社会」論 ---- 153

3　消費社会のもたらす疎外と孤立 155

第14章　規律訓練と主体化（M. フーコー） 岡崎 宏樹

近松物語／梟の城／ GOEMON ／網走番外地／刑務所の中／バトル・ロワイアル／生きる

1　規律化社会：監獄から学校まで 161
2　フーコーの規律訓練と主体化の理論 166
3　〈力〉の関係性と抵抗する主体 168

第15章　監視社会（D. ライアン） 菊池 哲彦

ゴールデンスランバー／踊る大捜査線THE MOVIE 2 ／プラチナデータ／劇場版PSYCHO-PASSサイコパス／テラスハウス クロージング・ドア

1　監視カメラの世界と個人データ管理の世界 173
2　監視社会についての論点 176
3　監視社会の現在と抵抗の可能性 181

第16章　観光のまなざし（J. アーリ） 野村 明宏

フラガール／ハワイの若大将

1　炭鉱から観光へ：『フラガール』 185
2　観光のまなざしのロマン主義と集合主義 189
3　擬似イベントと観光のまなざし 193

第17章　オリエンタリズム（E. W. サイード） 竹内 里欧

王手／怪談／ Dolls ／スワロウテイル／痴人の愛

1　自己像と「他者」 197
2　サイード「オリエンタリズム」 201
3　自己増殖する「幻想」 203

第18章　想像の共同体（B. アンダーソン） 阿部 利洋

ウンタマギルー／スワロウテイル／ GO ／血と骨／パッチギ！／かぞくのくに／漂流街／ルパン三世／天国から来た男たち

1　日本語字幕の日本映画 208
2　想像するしかない／想像してしまう共同体 211

3　共同体をどのように想像するのか／しないのか 217

第19章　伝統の創造（E. ホブズボウム，T. レンジャー）　阪本 博志
バーバー吉野／姿三四郎／続 姿三四郎／東京オリンピック／悲しき口笛

1　『バーバー吉野』と「創られた伝統」 219
2　『創られた伝統』を読む 221
3　近現代日本における「創られた伝統」 226

第20章　リスク社会（U. ベック）　多田 光宏
ホームレス中学生／闇の子供たち

1　リスク社会としての現代日本 231
2　再帰的近代化と個人化の時代 234
3　ナショナリズムからコスモポリタニズムへ 240

映画紹介
参考文献